

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（新 野）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数・数学AB・・・基礎基本のさらなる徹底。課題である思考を問う活用問題にも計画的に取り組む。 国語AB・・・漢字・ローマ字・文法事項などの基礎基本の徹底。しっかり読んで、記述する問題の課題にも少しずつ取り組む。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	授業、補充学習、朝や放課後学習、家庭学習の中で、問題データベースを積極的に活用し、基礎学力の定着を図るとともに、活用・チャレンジ問題にも取り組んだ。特に、各学年の学習のまとめとしてしっかり活用した。（4教科）課題のあったローマ字の復習にも少しずつ取り組んだ。	A	問題データベースの有効な活用を進める。（4教科） （前学年の復習、基礎基本の定着のために活用の場を設定する。） ・授業の中で、ドリル・チャレンジ問題として ・朝学習などいろいろな場面で復習問題として
①	学習規律の徹底を図るとともに、「めあて・まとめ・振り返り」の位置づけ、自分の考えを表現したり、伝え合ったりする場の設定などの授業改善を図るようにした。	B	学年始めに「学習の約束」の共通理解を徹底し、共通実践に努める。授業改善の中で、基礎学力の定着、思考力、表現力の向上をめざし、到達度を確認し、指導を計画的に進める。
②	朝学習の中で毎学期行ってきた漢字・算数の強化週間では、1学期前々学年、2学期前学年としてきたので、3学期は当該学年の定着をはかる取組をした。	A	強化週間の取組として、繰り返し学習する場を設け、習熟していないところがないように定着を図っていく。 強化週間以外でも、継続的に取組む意識を高める。
③	「ノーメディア・ウィーク」の取組みが昨年度平均より向上したが、さらに上回るように意識を高めていく。 （昨年度70%→今年度75%→来年度80%） 家庭学習の徹底。宿題だけでなく自主学習も進めた。	B	「ノーメディア」80%をめざす。 宿題提出100%をめざす。 自主学習を全員で進める。（家庭学習の目安時間を確保できるように）
※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」			